

1 乳用牛

(1) 飼養戸数・頭数

平成30年2月1日現在（以下「平成30年」という。）の全国の乳用牛の飼養戸数は1万5,700戸で、廃業等により前年に比べ700戸（4.3%）減少した。

飼養頭数は132万8,000頭で、前年に比べ5,000頭（0.4%）増加した。飼養頭数の内訳をみると、経産牛は84万7,200頭で、前年に比べ4,900頭（0.6%）減少した。また、未經産牛は48万900頭で、前年に比べ9,900頭（2.1%）増加した。

なお、1戸当たり飼養頭数は84.6頭で、前年に比べ3.9頭増加した。

図1 乳用牛の飼養戸数・頭数の推移

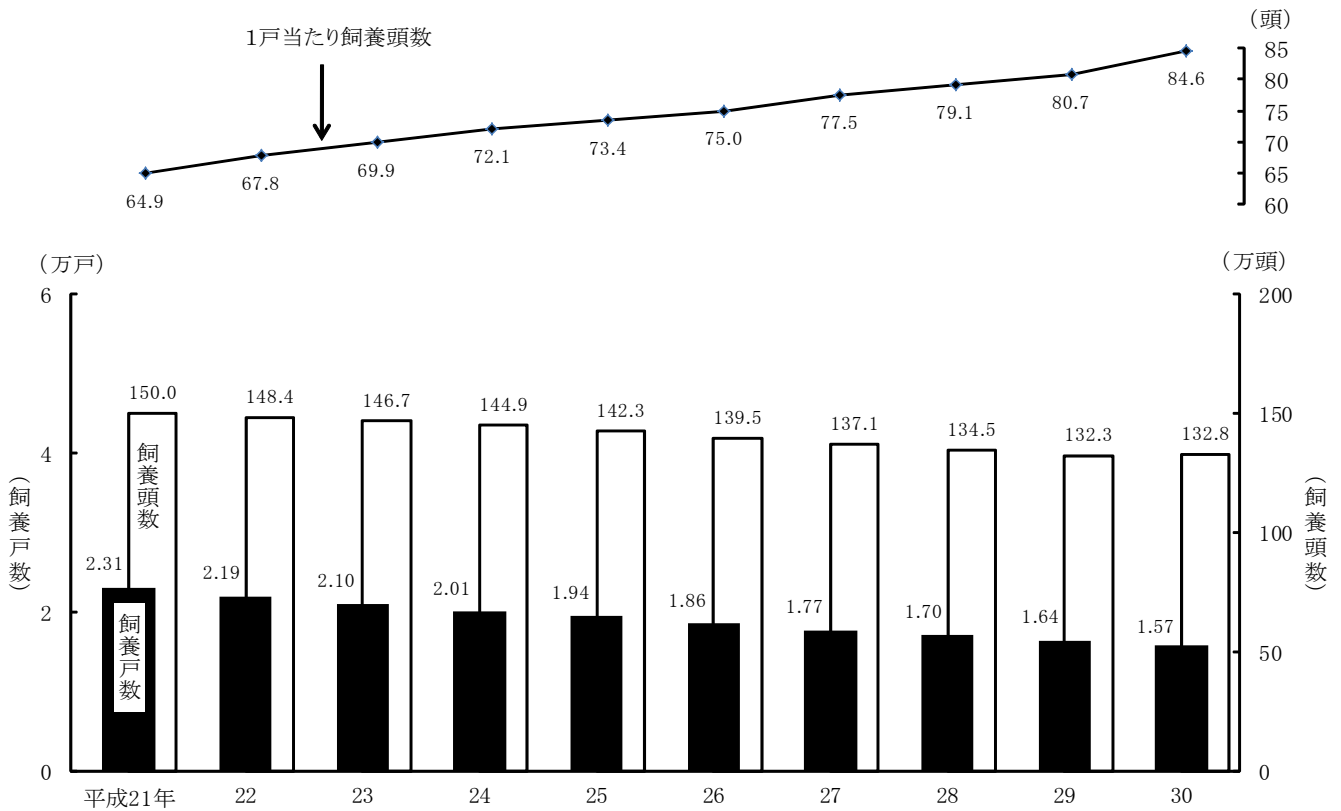


表1 乳用牛の飼養戸数・飼養頭数

区分	飼養戸数	飼 養 頭 数					1戸当たり飼養頭数	
		計	経 産 牛			未經産牛		
			小 計	搾乳牛	乾乳牛			
		戸	千頭	千頭	千頭	千頭	千頭	頭
実 数	平成28年	17,000	1,345.0	871.0	751.7	119.3	474.1	79.1
	29	16,400	1,323.0	852.1	735.2	116.9	471.0	80.7
	30	15,700	1,328.0	847.2	731.1	116.1	480.9	84.6
対前年比	30 / 29 (%)	95.7	100.4	99.4	99.4	99.3	102.1	-
構 成 比	平成28年 (%)	-	100.0	64.8	55.9	8.9	35.2	-
	29	-	100.0	64.4	55.6	8.8	35.6	-
	30	-	100.0	63.8	55.1	8.7	36.2	-

注： 数値については、四捨五入のため合計と内訳の計が一致しないことがある（四捨五入の方法については11ページを参照。以下表22まで同じ。）。

(2) 全国農業地域別飼養戸数・頭数

全国農業地域別にみると、乳用牛の飼養戸数は、前年に比べ全ての地域で減少した。飼養頭数は、前年に比べ北海道及び中国で増加したが、これ以外の地域では減少した。なお、地域別の飼養頭数割合は、北海道が全国の約6割を占めている。

図2 乳用牛の全国農業地域別飼養戸数・頭数の前年比較

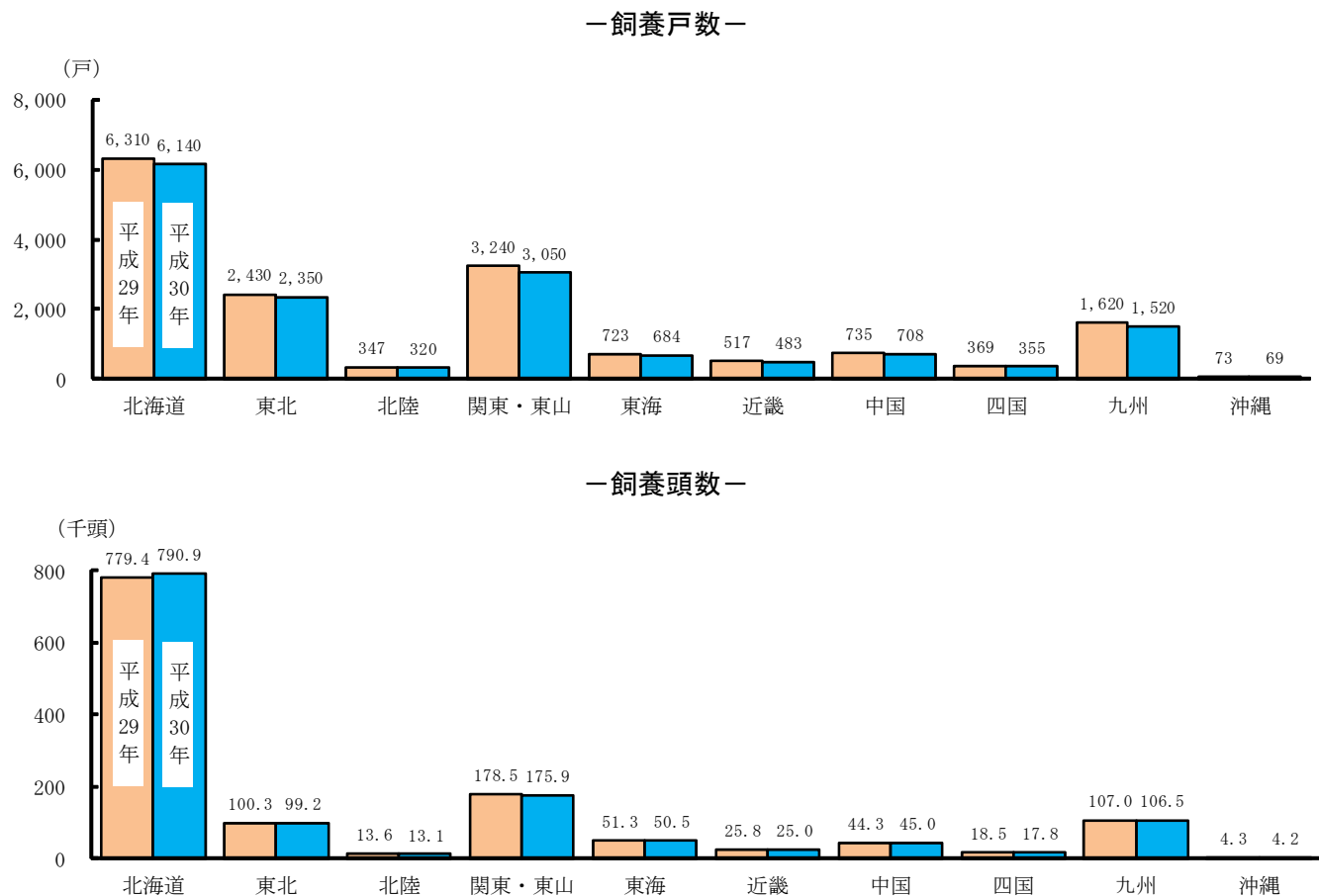


表2 乳用牛の全国農業地域別飼養戸数・頭数

区分	単位	全国	北海道	東北	北陸	関東・東山	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄
飼養戸数												
実数 平成29年	戸	16,400	6,310	2,430	347	3,240	723	517	735	369	1,620	73
30	〃	15,700	6,140	2,350	320	3,050	684	483	708	355	1,520	69
対前年比 30/29	%	95.7	97.3	96.7	92.2	94.1	94.6	93.4	96.3	96.2	93.8	94.5
全国割合 平成29年	〃	100.0	38.5	14.8	2.1	19.8	4.4	3.2	4.5	2.3	9.9	0.4
30	〃	100.0	39.1	15.0	2.0	19.4	4.4	3.1	4.5	2.3	9.7	0.4
飼養頭数												
実数 平成29年	千頭	1,323.0	779.4	100.3	13.6	178.5	51.3	25.8	44.3	18.5	107.0	4.3
30	〃	1,328.0	790.9	99.2	13.1	175.9	50.5	25.0	45.0	17.8	106.5	4.2
対前年比 30/29	%	100.4	101.5	98.9	96.3	98.5	98.4	96.9	101.6	96.2	99.5	97.2
全国割合 平成29年	〃	100.0	58.9	7.6	1.0	13.5	3.9	2.0	3.3	1.4	8.1	0.3
30	〃	100.0	59.6	7.5	1.0	13.2	3.8	1.9	3.4	1.3	8.0	0.3

注：沖縄の飼養頭数の対前年比は、小数第2位までの実数をもとに算出している。

(3) 成畜（満2歳以上の牛）飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

乳用牛の成畜（満2歳以上の牛）飼養頭数規模別（学校、試験場等の非営利的な飼養者を含まない。以下(4)及び(5)において同じ。）にみると、飼養戸数及び飼養頭数は、ともに前年に比べ80～99頭及び100頭以上の階層で増加したが、これ以外の階層では減少した。

なお、成畜飼養頭数規模別の飼養頭数割合は、100頭以上の階層が約4割を占めている。

図3 乳用牛の成畜飼養頭数規模別飼養戸数・頭数の前年比較

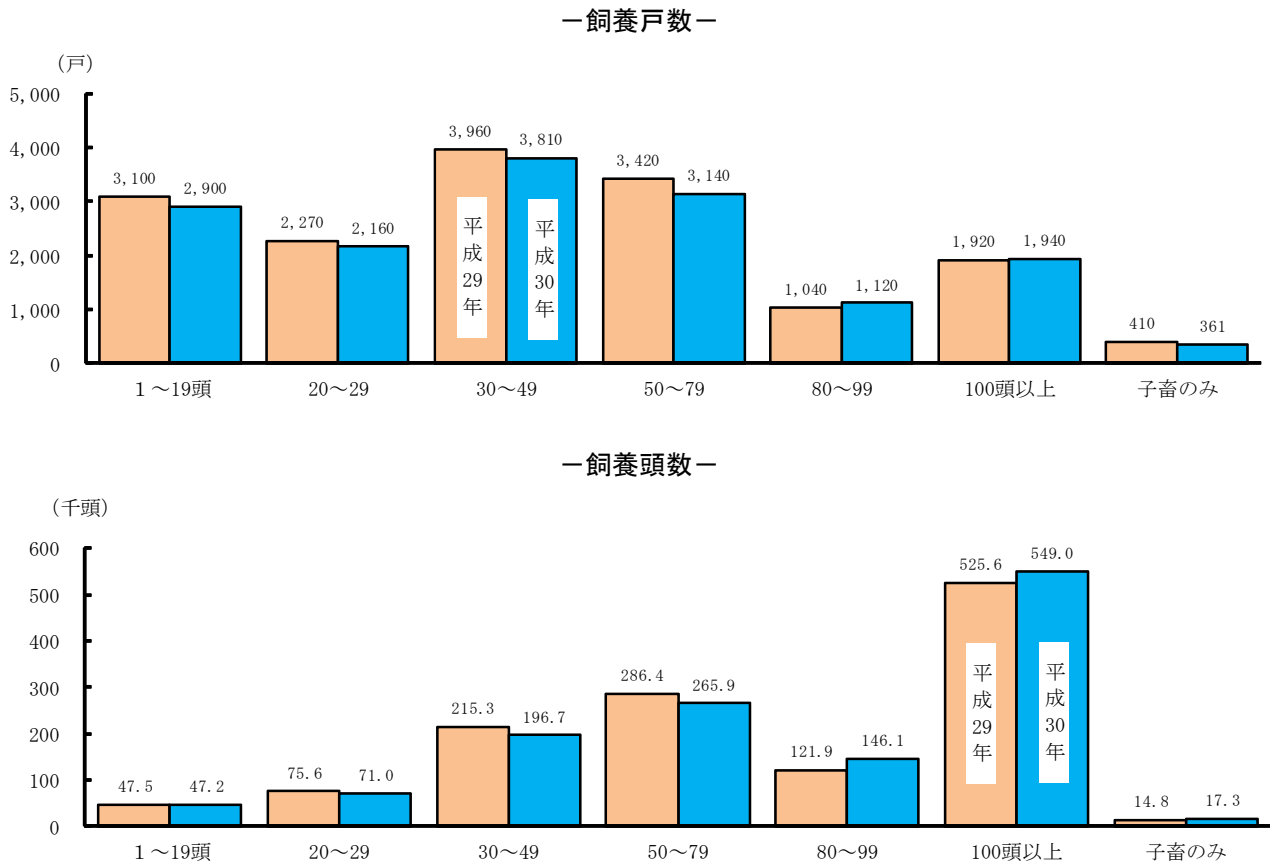


表3 乳用牛の成畜飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

区分	単位	計	成畜飼養頭数規模								子畜のみ	
			小計	1~19頭	20~29	30~49	50~79	80~99	100頭以上	300頭以上		
飼養戸数	実数 平成29年	戸	16,100	15,700	3,100	2,270	3,960	3,420	1,040	1,920	244	410
	30	"	15,400	15,100	2,900	2,160	3,810	3,140	1,120	1,940	260	361
	対前年比 30/29	%	95.7	96.2	93.5	95.2	96.2	91.8	107.7	101.0	106.6	88.0
	構成比 平成29年	"	100.0	97.5	19.3	14.1	24.6	21.2	6.5	11.9	1.5	2.5
30	"	100.0	98.1	18.8	14.0	24.7	20.4	7.3	12.6	1.7	2.3	
飼養頭数	実数 平成29年	千頭	1,287.0	1,272.0	47.5	75.6	215.3	286.4	121.9	525.6	176.8	14.8
	30	"	1,293.0	1,276.0	47.2	71.0	196.7	265.9	146.1	549.0	186.4	17.3
	対前年比 30/29	%	100.5	100.3	99.4	93.9	91.4	92.8	119.9	104.5	105.4	116.9
	構成比 平成29年	"	100.0	98.8	3.7	5.9	16.7	22.3	9.5	40.8	13.7	1.1
30	"	100.0	98.7	3.7	5.5	15.2	20.6	11.3	42.5	14.4	1.3	

注：1 この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

2 この表の飼養頭数は、各階層の飼養者が飼っている全ての乳用牛（成畜及び子畜）の頭数である。

(4) 乳用牛飼養者の飼料作物作付戸数と実面積の状況

乳用牛飼養者のうち、調査期日前の1年間（平成29年2月1日から平成30年1月31日まで。以下同じ。）に飼料作物を作付けた戸数は1万3,500戸で、乳用牛飼養者の87.7%となっており、飼料作物作付実面積は47万8,600haとなっている。

これを全国農業地域別にみると、北海道、東北及び九州において乳用牛飼養者の9割以上が飼料作物を作付けしている。

図4 乳用牛飼養者の飼料作物作付戸数割合（全国農業地域別）

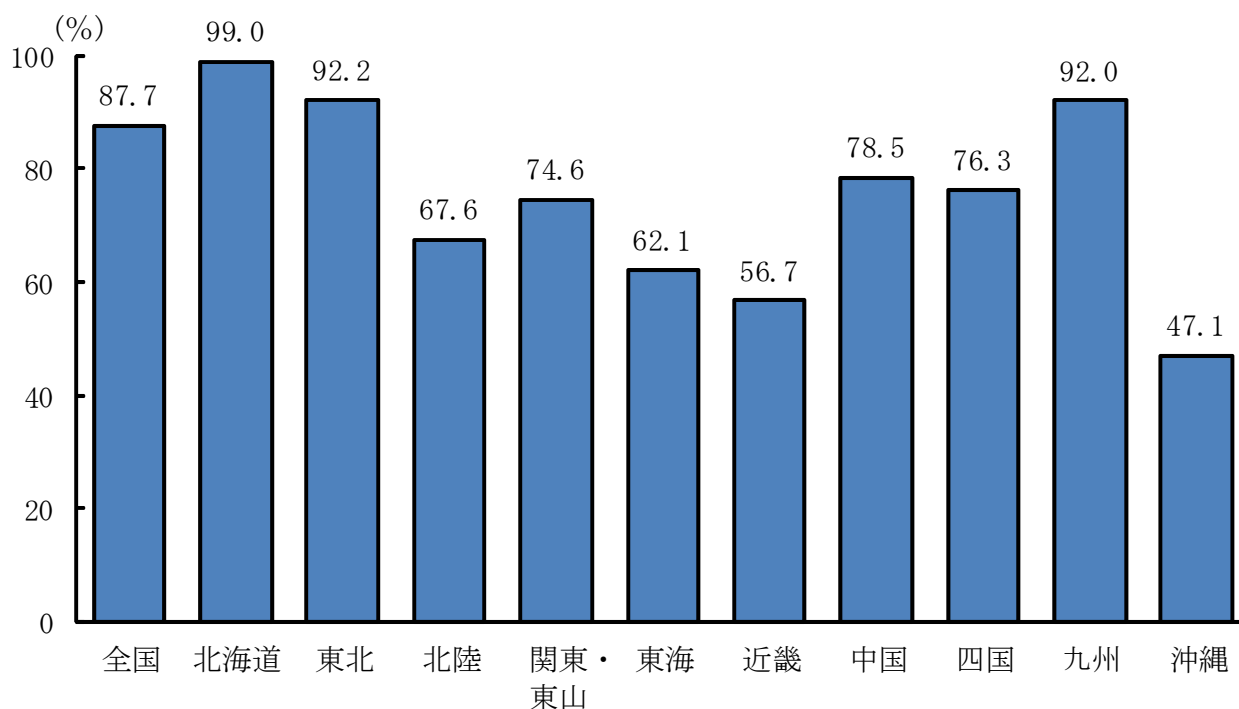


表4 乳用牛飼養者の飼料作物作付戸数・実面積（全国農業地域別）

区分	飼養戸数	飼料作物作付戸数	飼料作物作付戸数割合	経営耕地面積	飼料作物作付実面積
	戸	戸	%	ha	ha
全国	15,400	13,500	87.7	506,500	478,600
北海道	6,090	6,030	99.0	435,900	415,200
東北	2,320	2,140	92.2	30,000	27,500
北陸	309	209	67.6	1,730	1,460
関東・東山	2,990	2,230	74.6	17,400	15,100
東海	665	413	62.1	2,370	2,120
近畿	469	266	56.7	720	500
中国	688	540	78.5	4,640	4,090
四国	346	264	76.3	990	850
九州	1,500	1,380	92.0	12,600	11,600
沖縄	68	32	47.1	170	130

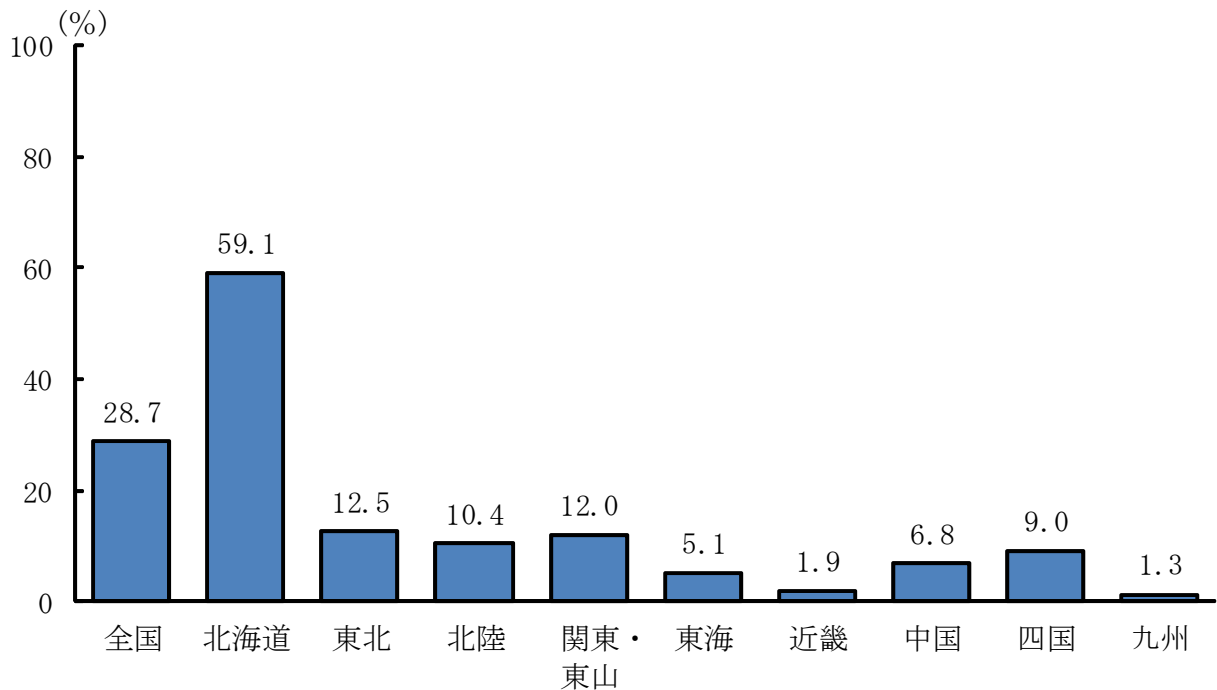
注:この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

(5) 乳用牛の放牧状況

乳用牛飼養者のうち、調査期日前の1年間に乳用牛の放牧を行った戸数は4,420戸で、乳用牛飼養者の28.7%となっており、放牧頭数は22万3,700頭となっている。

これを全国農業地域別にみると、北海道では約6割の乳用牛飼養者が放牧を行っており、その他の地域を大きく上回っている。

図5 乳用牛飼養者の放牧実施戸数割合（全国農業地域別）



注：沖縄については、放牧している飼養者がいないため、表章していない。

表5 乳用牛の放牧状況（全国農業地域別）

区分	飼養戸数	放牧をしている戸数	放牧実施戸数割合	放牧頭数
	戸	戸	%	頭
全国	15,400	4,420	28.7	223,700
北海道	6,090	3,600	59.1	209,500
東北	2,320	289	12.5	6,500
北陸	309	32	10.4	160
関東・東山	2,990	359	12.0	4,550
東海	665	34	5.1	740
近畿	469	9	1.9	140
中国	688	47	6.8	820
四国	346	31	9.0	540
九州	1,500	19	1.3	690
沖縄	68	-	-	-

注：この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

2 肉用牛

(1) 飼養戸数・頭数

平成30年の全国の肉用牛の飼養戸数は4万8,300戸で、廃業等により前年に比べ1,800戸(3.6%)減少した。

飼養頭数は251万4,000頭で、前年に比べ1万5,000頭(0.6%)増加した。飼養頭数の内訳をみると、肉用種は170万1,000頭で前年に比べ3万7,000頭(2.2%)増加した。

このうち、子取り用めす牛は61万400頭、肥育用牛は73万6,600頭で、前年に比べそれぞれ1万3,100頭(2.2%)、1万4,300頭(2.0%)増加した。

乳用種(乳廃牛は除く。)は81万3,000頭で前年に比べ2万1,700頭(2.6%)減少した。

また、乳用種のうち、ホルスタイン種他は29万5,100頭で前年に比べ1万8,000頭(5.7%)減少し、交雑種(F1牛、F1クロス牛)は51万7,900頭で前年に比べ3万7,000頭(0.7%)減少した。

なお、1戸当たり飼養頭数は52.0頭で、前年に比べ2.1頭増加した。

図6 肉用牛の飼養戸数・頭数の推移

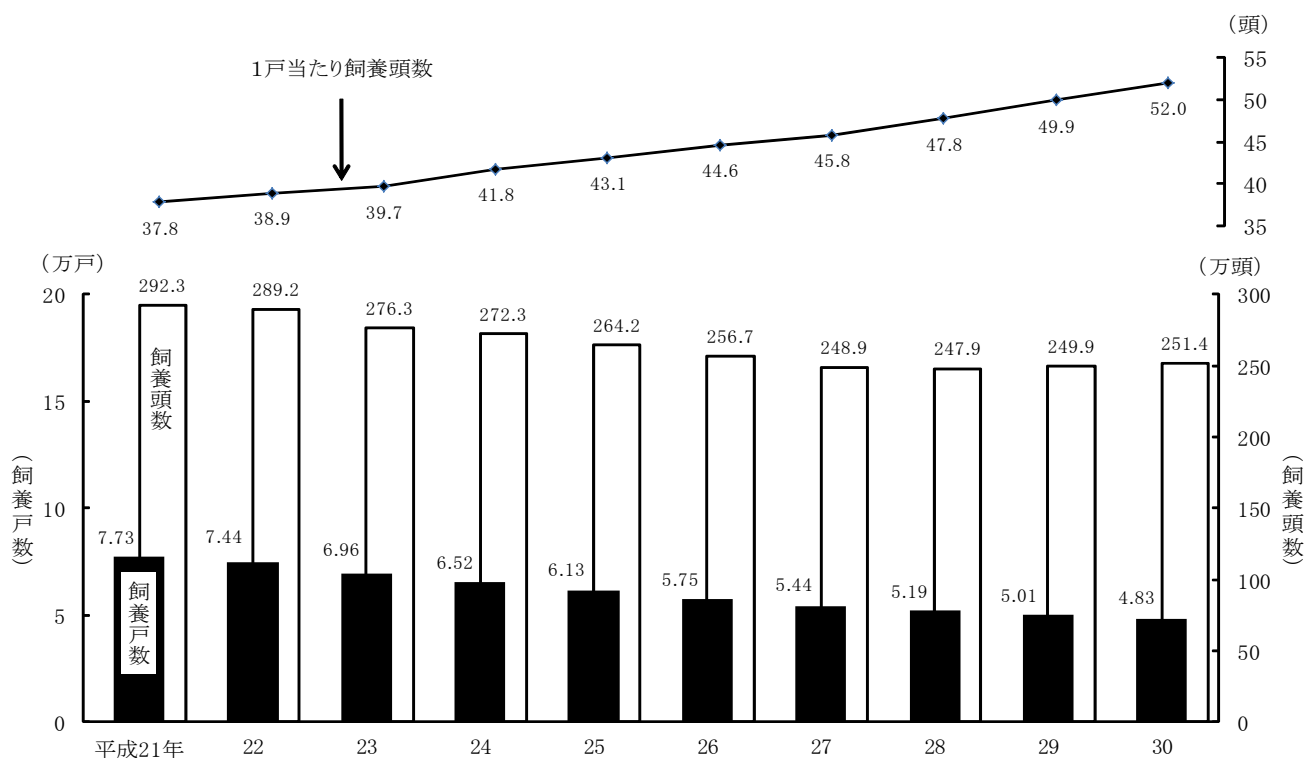


表6 肉用牛の飼養戸数・頭数

区分	飼養戸数	飼 養 頭 数							1戸当たり飼養頭数	
		計	肉用種	子取り用めす牛		肥育用牛		乳 用 種		
	戸	千頭	千頭	千頭	千頭	千頭	千頭	千頭	千頭	頭
実 数										
平成28年	51,900	2,479.0	1,642.0	589.1	720.0	837.1	331.8	505.3	47.8	
29	50,100	2,499.0	1,664.0	597.3	722.3	834.7	313.1	521.6	49.9	
30	48,300	2,514.0	1,701.0	610.4	736.6	813.0	295.1	517.9	52.0	
対前年比										
30 / 29 (%)	96.4	100.6	102.2	102.2	102.0	97.4	94.3	99.3	-	
構 成 比										
平成28年 (%)	-	100.0	66.2	23.8	29.0	33.8	13.4	20.4	-	
29	-	100.0	66.6	23.9	28.9	33.4	12.5	20.9	-	
30	-	100.0	67.7	24.3	29.3	32.3	11.7	20.6	-	

(2) 全国農業地域別飼養戸数・頭数

全国農業地域別にみると、肉用牛の飼養戸数は、前年に比べ全ての地域では減少した。

飼養頭数は、前年に比べ東北、北陸、関東・東山及び東海で減少したが、これ以外の地域では増加した。

なお、地域別の飼養頭数割合は、九州が全国の約4割を占めている。

図7 肉用牛の全国農業地域別飼養戸数・頭数の前年比較

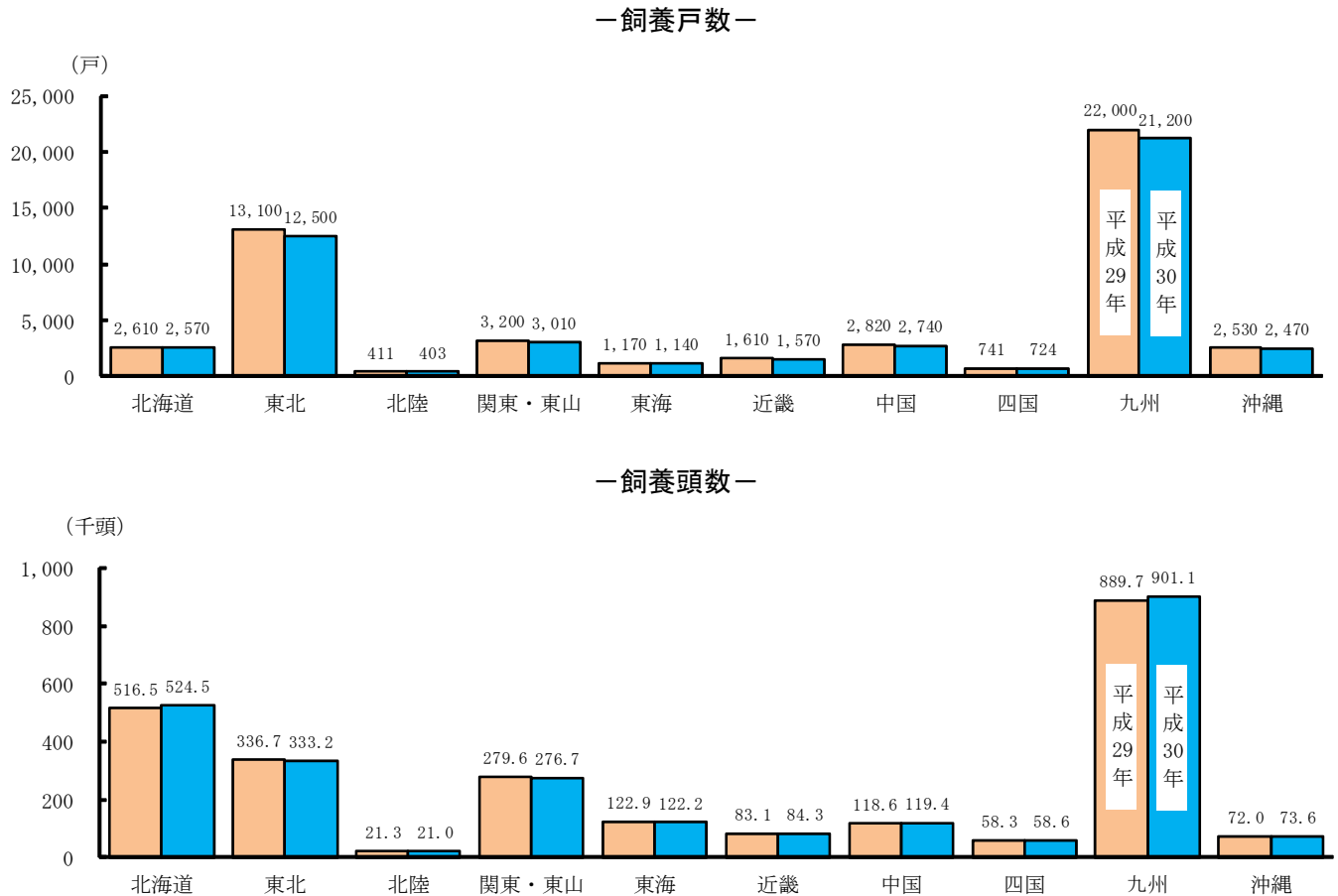


表7 肉用牛の全国農業地域別飼養戸数・頭数

区分	単位	全国	北海道	東北	北陸	関東・東山	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄
飼養戸数												
実数 平成29年	戸	50,100	2,610	13,100	411	3,200	1,170	1,610	2,820	741	22,000	2,530
30	〃	48,300	2,570	12,500	403	3,010	1,140	1,570	2,740	724	21,200	2,470
対前年比 30/29	%	96.4	98.5	95.4	98.1	94.1	97.4	97.5	97.2	97.7	96.4	97.6
全国割合 平成29年	〃	100.0	5.2	26.1	0.8	6.4	2.3	3.2	5.6	1.5	43.9	5.0
30	〃	100.0	5.3	25.9	0.8	6.2	2.4	3.3	5.7	1.5	43.9	5.1
飼養頭数												
実数 平成29年	千頭	2,499.0	516.5	336.7	21.3	279.6	122.9	83.1	118.6	58.3	889.7	72.0
30	〃	2,514.0	524.5	333.2	21.0	276.7	122.2	84.3	119.4	58.6	901.1	73.6
対前年比 30/29	%	100.6	101.5	99.0	98.6	99.0	99.4	101.4	100.7	100.5	101.3	102.2
全国割合 平成29年	〃	100.0	20.7	13.5	0.9	11.2	4.9	3.3	4.7	2.3	35.6	2.9
30	〃	100.0	20.9	13.3	0.8	11.0	4.9	3.4	4.7	2.3	35.8	2.9

(3) 総飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

ア 総飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

肉用牛の総飼養頭数規模別（学校、試験場等の非営利的な飼養者を含まない。以下イ及びウ並びに(4)及び(5)において同じ。）にみると、飼養戸数は、前年に比べ20～49頭の階層で増加したが、これ以外の階層では減少した。

飼養頭数は、前年に比べ20～49頭、100～199頭及び200頭以上の階層で増加したが、これ以外の階層では減少した。

なお、総飼養頭数規模別の飼養頭数割合は、200頭以上の階層が約6割を占めている。

図8 肉用牛の総飼養頭数規模別飼養戸数・頭数の前年比較

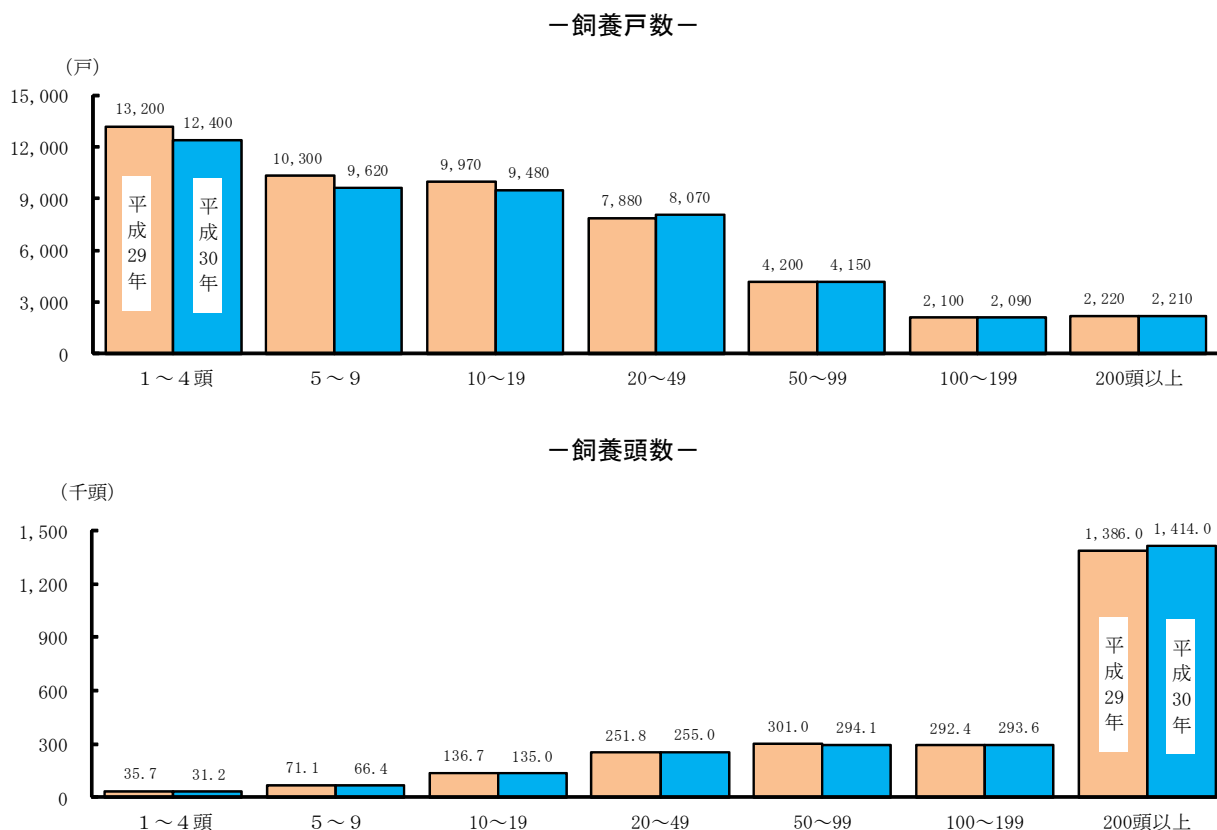


表8 肉用牛の総飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

区 分	単 位	飼 養 頭 数 規 模										
		計	1～4頭	5～9	10～19	20～49	50～99	100～199	200頭以上	500頭以上		
飼 養 戸 数	実 数	平成29年	戸	49,800	13,200	10,300	9,970	7,880	4,200	2,100	2,220	741
		30	〃	48,000	12,400	9,620	9,480	8,070	4,150	2,090	2,210	769
	対前年比	30/29	%	96.4	93.9	93.4	95.1	102.4	98.8	99.5	99.5	103.8
	構 成 比	平成29年	〃	100.0	26.5	20.7	20.0	15.8	8.4	4.2	4.5	1.5
	30	〃	100.0	25.8	20.0	19.8	16.8	8.6	4.4	4.6	1.6	
飼 養 頭 数	実 数	平成29年	千頭	2,475.0	35.7	71.1	136.7	251.8	301.0	292.4	1,386.0	948.6
		30	〃	2,490.0	31.2	66.4	135.0	255.0	294.1	293.6	1,414.0	977.2
	対前年比	30/29	%	100.6	87.4	93.4	98.8	101.3	97.7	100.4	102.0	103.0
	構 成 比	平成29年	〃	100.0	1.4	2.9	5.5	10.2	12.2	11.8	56.0	38.3
	30	〃	100.0	1.3	2.7	5.4	10.2	11.8	11.8	56.8	39.2	

注：この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

イ 肉用種の目的別飼養頭数別飼養戸数

(7) 子取り用めす牛

肉用種の子取り用めす牛を飼養している戸数は4万1,800戸で、肉用牛飼養戸数の87.1%となっている。

飼養頭数規模別にみると、前年に比べて10～19頭、20～49頭、50～99頭及び100頭以上の階層で増加したが、これ以外の階層では減少した。

表9 子取り用めす牛の飼養頭数規模別飼養戸数

区 分	肉用牛の飼養戸数	子 取 り 用 め す 牛 飼 養 頭 数 規 模							子取り用めす牛なし
		計	1～4頭	5～9	10～19	20～49	50～99	100頭以上	
実 数 平成29年	49,800	43,000	18,400	10,400	7,170	5,200	1,370	495	6,790
30	48,000	41,800	16,600	10,000	7,780	5,350	1,570	539	6,190
対前年比 30/29 (%)	96.4	97.2	90.2	96.2	108.5	102.9	114.6	108.9	91.2
構 成 比 平成29年 (%)	100.0	86.3	36.9	20.9	14.4	10.4	2.8	1.0	13.6
30	100.0	87.1	34.6	20.8	16.2	11.1	3.3	1.1	12.9

注：この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

(1) 肥育用牛

肉用種の肥育用牛を飼養している戸数は7,620戸で、肉用牛飼養戸数の15.9%となっている。

飼養頭数規模別にみると、前年に比べて1～9頭及び200頭以上の階層で増加したが、これ以外の階層では減少した。

表10 肥育用牛の飼養頭数規模別飼養戸数

区 分	肉用牛の飼養戸数	肥 育 用 牛 飼 養 頭 数 規 模									肥育用牛なし
		計	1～9頭	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200頭以上	500頭以上	
実 数 平成29年	49,800	7,840	2,570	817	594	897	1,110	944	904	255	42,000
30	48,000	7,620	2,640	733	514	781	1,100	884	969	304	40,400
対前年比 30/29 (%)	96.4	97.2	102.7	89.7	86.5	87.1	99.1	93.6	107.2	119.2	96.2
構 成 比 平成29年 (%)	100.0	15.7	5.2	1.6	1.2	1.8	2.2	1.9	1.8	0.5	84.3
30	100.0	15.9	5.5	1.5	1.1	1.6	2.3	1.8	2.0	0.6	84.2

注：この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

ウ 乳用種の飼養頭数規模別飼養戸数

肉用の乳用種を飼養している戸数は4,650戸で、肉用牛飼養戸数の9.7%となっている。

飼養頭数規模別にみると、前年に比べて50～99頭及び100～199頭の階層で増加したが、これ以外の階層では減少した。

表11 乳用種の飼養頭数規模別飼養戸数

区 分	肉用牛の飼養戸数	乳 用 種 飼 養 頭 数 規 模								乳用種なし
		計	1～4頭	5～19	20～49	50～99	100～199	200頭以上	500頭以上	
実 数 平成29年	49,800	4,950	1,540	909	619	423	480	975	404	44,900
30	48,000	4,650	1,440	888	486	427	491	914	408	43,300
対前年比 30/29 (%)	96.4	93.9	93.5	97.7	78.5	100.9	102.3	93.7	101.0	96.4
構 成 比 平成29年 (%)	100.0	9.9	3.1	1.8	1.2	0.8	1.0	2.0	0.8	90.2
30	100.0	9.7	3.0	1.9	1.0	0.9	1.0	1.9	0.9	90.2

注：この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

(4) 肉用牛飼養者の飼料作物作付戸数と実面積の状況

肉用牛飼養者のうち、調査期日前の1年間に飼料作物を作付けした戸数は3万9,000戸で、肉用牛飼養者の81.3%となっており、飼料作物作付実面積は19万5,800haとなっている。

これを全国農業地域別にみると、北海道及び九州で肉用牛飼養者の約9割が飼料作物を作付けしている。

図9 肉用牛飼養者の飼料作物作付戸数割合（全国農業地域別）

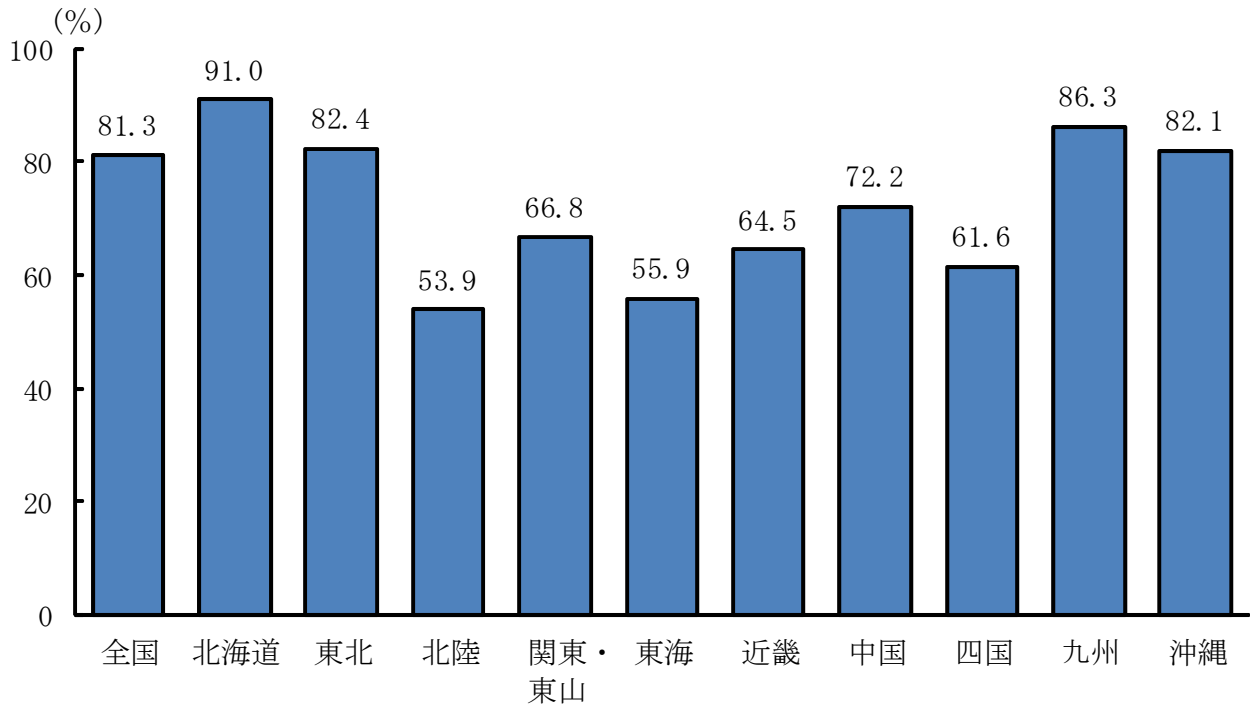


表12 肉用牛飼養者の飼料作物作付戸数・実面積（全国農業地域別）

区分	飼養戸数	飼料作物作付戸数	飼料作物作付戸数割合	経営耕地面積	飼料作物作付実面積
	戸	戸	%	ha	ha
全国	48,000	39,000	81.3	272,900	195,800
北海道	2,550	2,320	91.0	101,800	83,100
東北	12,500	10,300	82.4	71,200	36,200
北陸	384	207	53.9	1,310	770
関東・東山	2,950	1,970	66.8	13,700	8,330
東海	1,110	620	55.9	2,120	1,500
近畿	1,550	1,000	64.5	1,570	790
中国	2,700	1,950	72.2	6,810	3,820
四国	711	438	61.6	1,250	660
九州	21,100	18,200	86.3	66,600	55,000
沖縄	2,460	2,020	82.1	6,560	5,680

注:この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

(5) 肉用牛の放牧状況

肉用牛飼養者のうち、調査期直前の1年間に肉用牛の放牧を行った戸数は6,370戸で、肉用牛飼養者の13.3%となっており、放牧頭数は8万7,900頭となっている。

これを全国農業地域別にみると、北海道では約4割の肉用牛飼養者が放牧を行っている。

図10 肉用牛飼養者の放牧実施戸数割合（全国農業地域別）

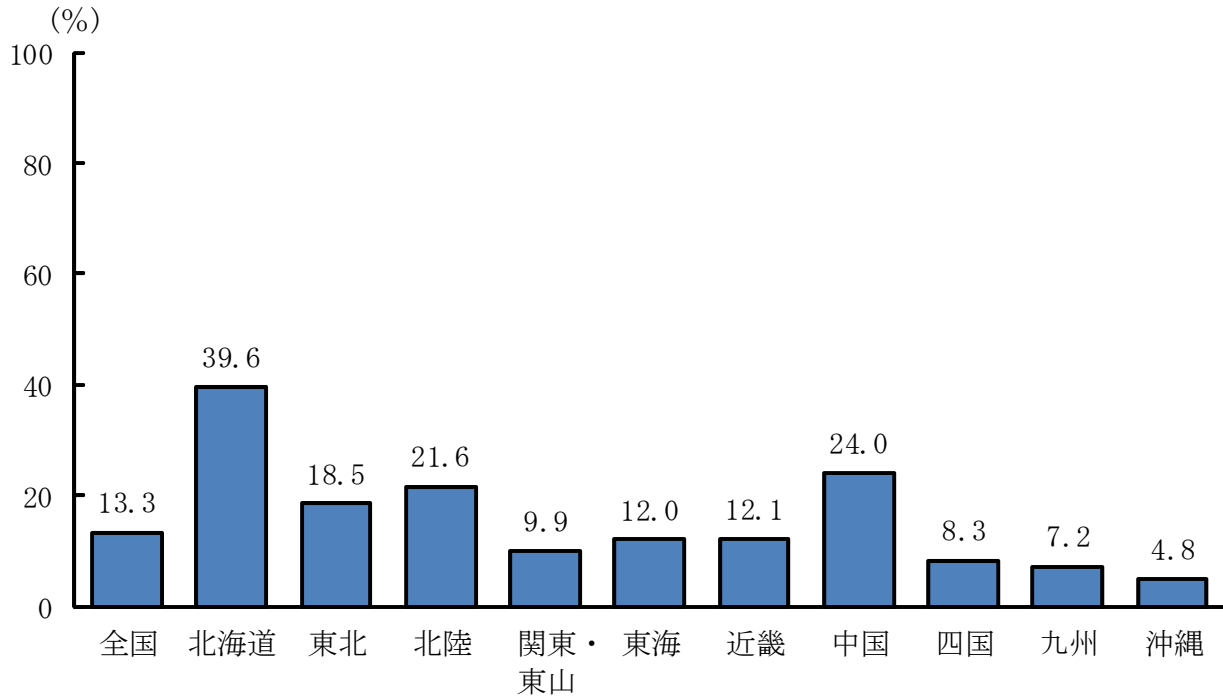


表13 肉用牛の放牧状況（全国農業地域別）

区分	飼養戸数	放牧をしている戸数	放牧実施戸数割合	放牧頭数
	戸	戸	%	頭
全国	48,000	6,370	13.3	87,900
北海道	2,550	1,010	39.6	35,800
東北	12,500	2,310	18.5	21,100
北陸	384	83	21.6	430
関東・東山	2,950	292	9.9	3,360
東海	1,110	133	12.0	1,100
近畿	1,550	188	12.1	2,460
中国	2,700	647	24.0	6,050
四国	711	59	8.3	460
九州	21,100	1,520	7.2	13,700
沖縄	2,460	119	4.8	3,450

注:この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

3 豚

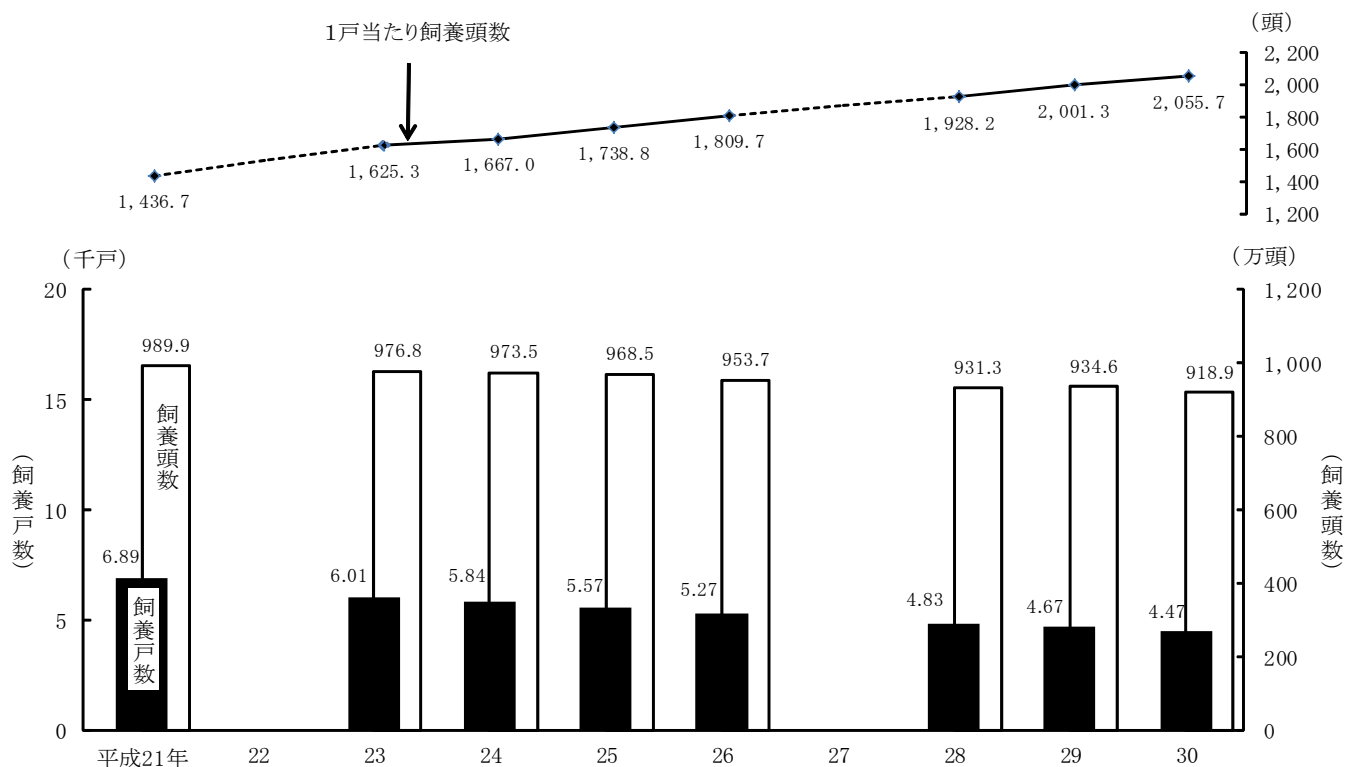
(1) 飼養戸数・頭数

平成30年の全国の豚の飼養戸数は4,470戸で、廃業等により前年に比べ200戸（4.3%）減少した。

飼養頭数は918万9,000頭で、前年に比べ15万7,000頭（1.7%）減少した。飼養頭数の内訳をみると、子取り用めす豚は82万3,700頭で、前年に比べ1万5,600頭（1.9%）減少し、肥育豚は767万7,000頭で、前年に比12万頭（1.5%）減少した。

なお、1戸当たり飼養頭数は2,055.7頭で、前年に比べ54.4頭増加した。

図11 豚の飼養戸数・頭数の推移



注：平成22年は2010年世界農林業センサス、平成27年は2015年農林業センサス実施年のため、調査を休止した。

表14 豚の飼養戸数・頭数

区 分	飼養戸数	子取り用 めす豚の いる戸数	飼 養 頭 数					1戸当たり 飼養頭数	子取り用 めす豚
			計	子取り用 めす豚	種おす豚	肥育豚	その他		
	戸	戸	千頭	千頭	千頭	千頭	千頭	頭	頭
実 数									
平成28年	4,830	3,940	9,313.0	844.7	42.6	7,743.0	682.5	1,928.2	214.4
29	4,670	3,800	9,346.0	839.3	43.5	7,797.0	666.1	2,001.3	220.9
30	4,470	3,640	9,189.0	823.7	39.4	7,677.0	649.6	2,055.7	226.3
対前年比									
30 / 29 (%)	95.7	95.8	98.3	98.1	90.6	98.5	97.5	-	-
構 成 比									
平成28年 (%)	100.0	81.6	100.0	9.1	0.5	83.1	7.3	-	-
29	100.0	81.4	100.0	9.0	0.5	83.4	7.1	-	-
30	100.0	81.4	100.0	9.0	0.4	83.5	7.1	-	-

(2) 全国農業地域別飼養戸数・頭数

全国農業地域別にみると、豚の飼養戸数は、前年に比べ全ての地域で減少した。
飼養頭数は、前年に比べ東海、中国及び沖縄で増加したが、これ以外の地域では減少した。
なお、地域別の飼養頭数割合は、関東・東山及び九州が、それぞれ全国の約3割を占めている。

図12 豚の全国農業地域別飼養戸数・頭数の前年比較

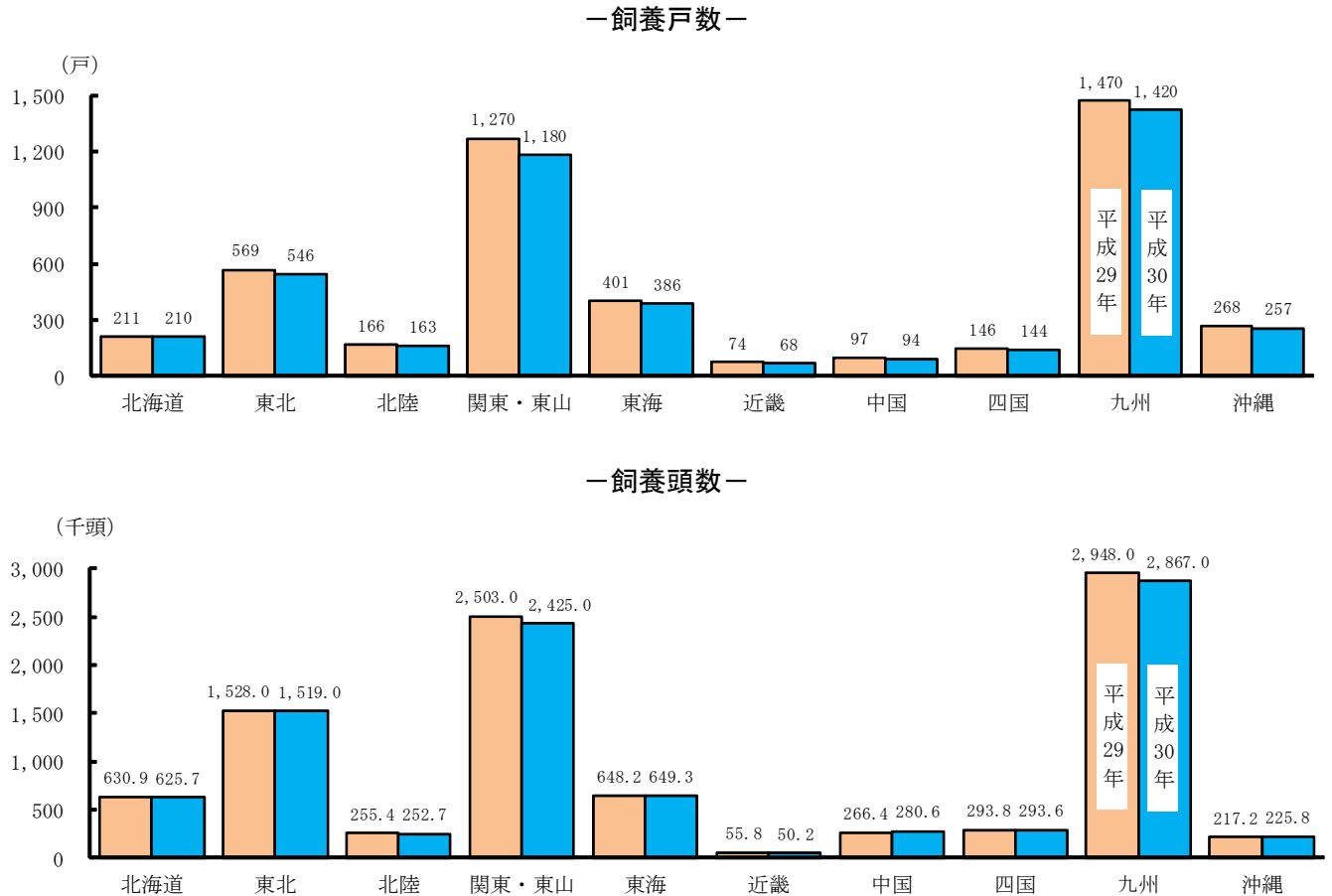


表15 豚の全国農業地域別飼養戸数・頭数

区 分	単位	全 国	北海道	東 北	北 陸	関・東 東 山	東 海	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄	
飼 養 戸 数	実 数 平成 29年	戸	4,670	211	569	166	1,270	401	74	97	146	1,470	268
	30	”	4,470	210	546	163	1,180	386	68	94	144	1,420	257
	対前年比 30/29	%	95.7	99.5	96.0	98.2	92.9	96.3	91.9	96.9	98.6	96.6	95.9
	全国割合 平成 29年	”	100.0	4.5	12.2	3.6	27.2	8.6	1.6	2.1	3.1	31.5	5.7
	30	”	100.0	4.7	12.2	3.6	26.4	8.6	1.5	2.1	3.2	31.8	5.7
飼 養 頭 数	実 数 平成 29年	千頭	9,346.0	630.9	1,528.0	255.4	2,503.0	648.2	55.8	266.4	293.8	2,948.0	217.2
	30	”	9,189.0	625.7	1,519.0	252.7	2,425.0	649.3	50.2	280.6	293.6	2,867.0	225.8
	対前年比 30/29	%	98.3	99.2	99.4	98.9	96.9	100.2	90.0	105.3	99.9	97.3	104.0
	全国割合 平成 29年	”	100.0	6.8	16.3	2.7	26.8	6.9	0.6	2.9	3.1	31.5	2.3
	30	”	100.0	6.8	16.5	2.8	26.4	7.1	0.5	3.1	3.2	31.2	2.5

(3) 肥育豚の飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

肥育豚の飼養頭数規模別（学校、試験場等の非営利的な飼養者を含まない。）にみると、飼養戸数及び飼養頭数は、ともに前年に比べ2,000頭以上の階層で増加したが、これ以外の階層では減少した。

なお、飼養頭数規模別の飼養頭数割合は、2,000頭以上の階層が約7割を占めている。

図13 肥育豚の飼養頭数規模別飼養戸数・頭数の前年比較

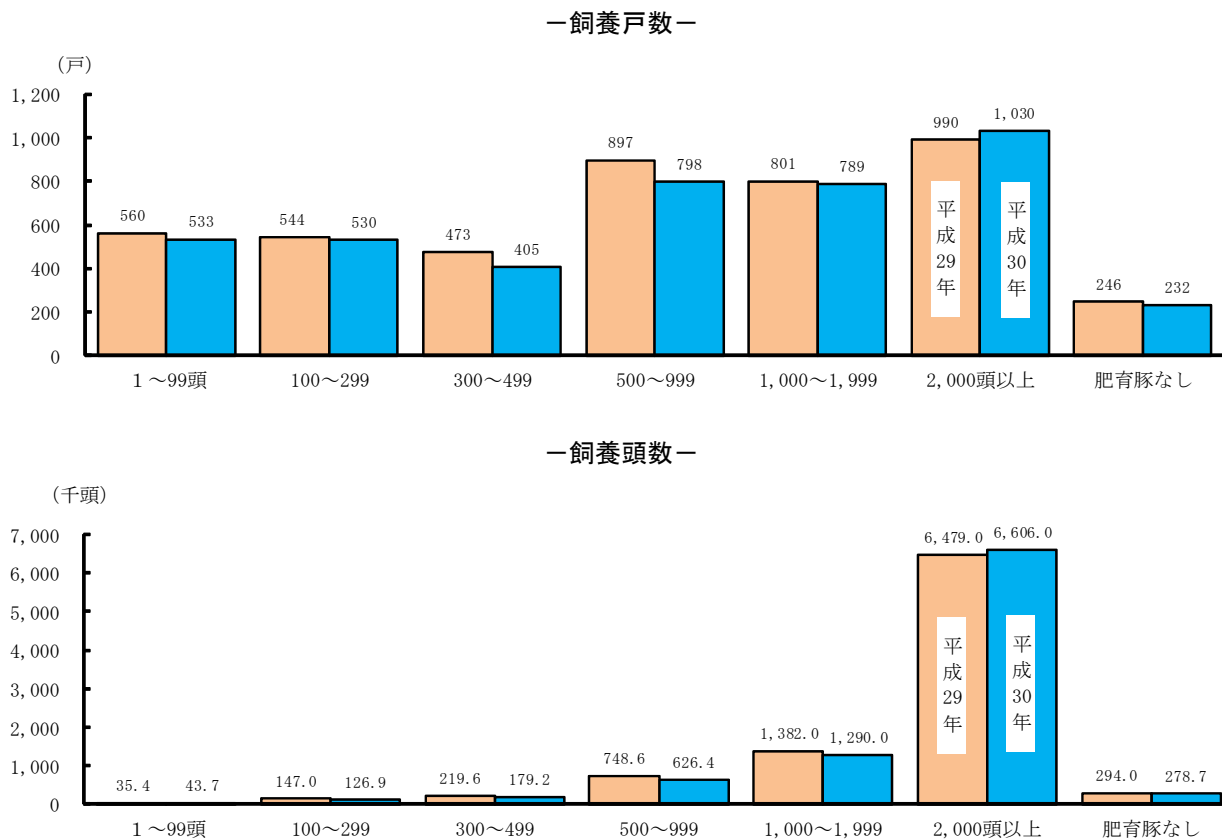


表16 肥育豚の飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

区分	単位	計	肥育豚飼養頭数規模								肥育豚なし	
			小計	1～99頭	100～299	300～499	500～999	1,000～1,999	2,000頭以上	3,000頭以上		
飼養戸数												
実数	平成29年	戸	4,510	4,270	560	544	473	897	801	990	663	246
	30	〃	4,310	4,080	533	530	405	798	789	1,030	667	232
対前年比	30/29	%	95.6	95.6	95.2	97.4	85.6	89.0	98.5	104.0	100.6	94.3
構成比	平成29年	〃	100.0	94.7	12.4	12.1	10.5	19.9	17.8	22.0	14.7	5.5
	30	〃	100.0	94.7	12.4	12.3	9.4	18.5	18.3	23.9	15.5	5.4
飼養頭数												
実数	平成29年	千頭	9,306.0	9,012.0	35.4	147.0	219.6	748.6	1,382.0	6,479.0	5,613.0	294.0
	30	〃	9,151.0	8,872.0	43.7	126.9	179.2	626.4	1,290.0	6,606.0	5,684.0	278.7
対前年比	30/29	%	98.3	98.4	123.4	86.3	81.6	83.7	93.3	102.0	101.3	94.8
構成比	平成29年	〃	100.0	96.8	0.4	1.6	2.4	8.0	14.9	69.6	60.3	3.2
	30	〃	100.0	97.0	0.5	1.4	2.0	6.8	14.1	72.2	62.1	3.0

注：1 この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

2 この表の飼養頭数は、各階層の飼養者が飼っている全ての豚（子取り用めす豚、肥育豚、種おす豚、その他（肥育用のもと豚等）を含む。）の頭数である。

4 採卵鶏

(1) 飼養戸数・羽数

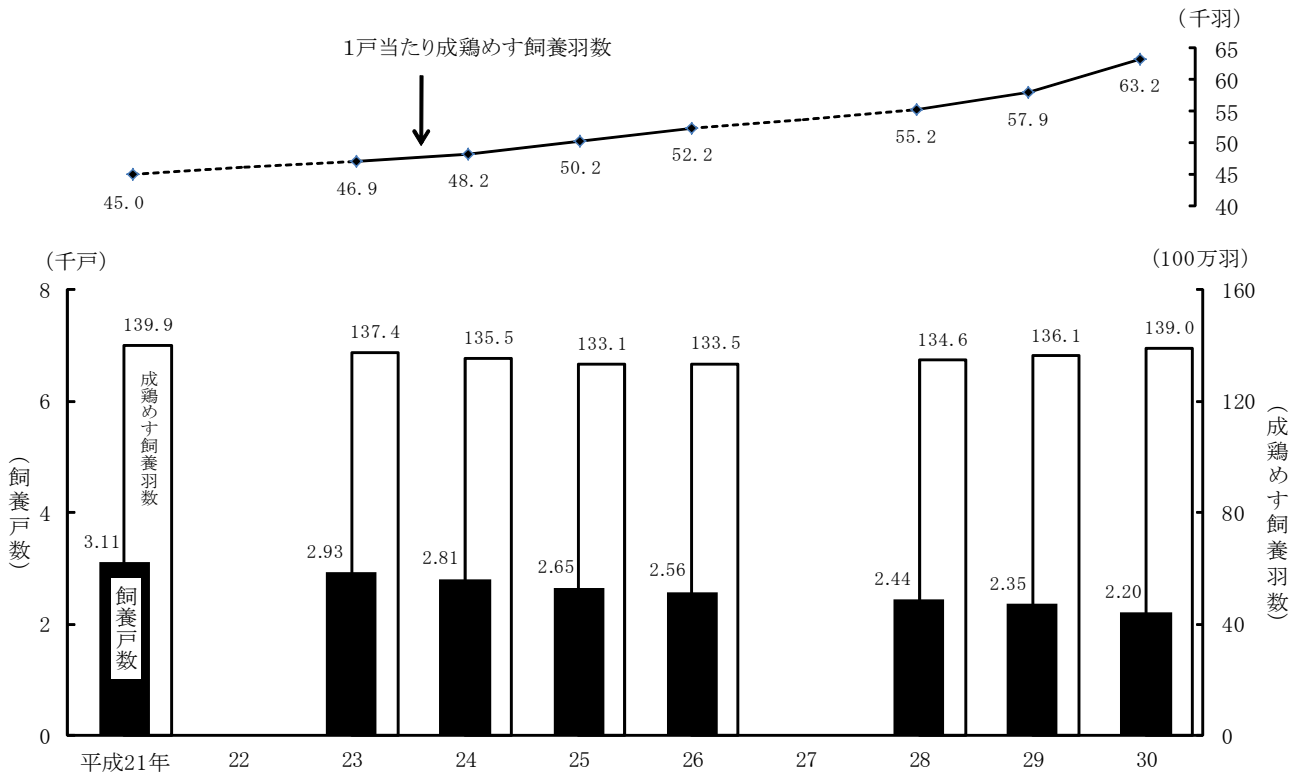
平成30年の全国の採卵鶏の飼養戸数は2,200戸で、廃業等により前年に比べ150戸（6.4%）減少した。

採卵鶏（種鶏を除く。）の飼養羽数は1億8,195万羽で、前年に比べ558万4,000羽（3.2%）増加した。

このうち、成鶏めす（6か月以上）の飼養羽数は1億3,903万6,000羽で、前年に比べ293万5,000羽（2.2%）増加した。

なお、1戸当たり成鶏めす飼養羽数は6万3,200羽で、前年に比べ5,300羽増加した。

図14 採卵鶏の飼養戸数・羽数の推移



注：平成22年は2010年世界農林業センサス、平成27年は2015年農林業センサス実施年のため、調査を休止した。

表17 採卵鶏の飼養戸数・羽数

区分	採卵鶏の飼養戸数	飼養羽数				1戸当たり成鶏めす飼養羽数
		計	採卵鶏 (種鶏を除く。)	成鶏めす (6か月以上)	種鶏	
	戸	千羽	千羽	千羽	千羽	千羽
実数						
平成28年	2,440	175,733	173,349	134,569	2,384	55.2
29	2,350	178,900	176,366	136,101	2,534	57.9
30	2,200	184,350	181,950	139,036	2,400	63.2
対前年比						
30/29 (%)	93.6	103.0	103.2	102.2	94.7	-
構成比						
平成28年 (%)	-	100.0	98.6	76.6	1.4	-
29	-	100.0	98.6	76.1	1.4	-
30	-	100.0	98.7	75.4	1.3	-

注：採卵鶏の飼養戸数には、種鶏のみの飼養者及び成鶏めす1,000羽未満の飼養者を含まない。

(2) 採卵鶏の全国農業地域別飼養戸数・羽数

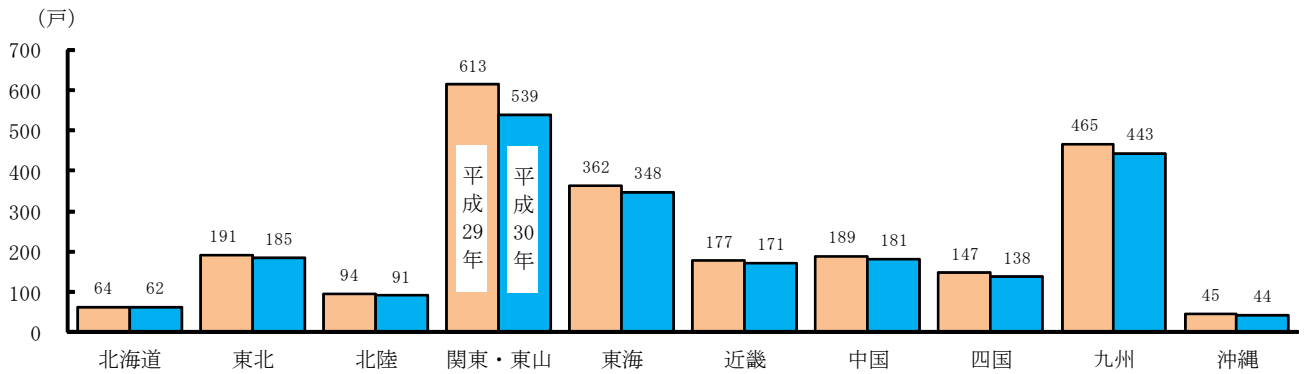
全国農業地域別にみると、採卵鶏の飼養戸数は、全ての地域で減少した。

飼養羽数は、前年に比べ北海道、北陸及び近畿で減少したが、これ以外の地域では増加した。

なお、地域別の飼養羽数割合は、関東・東山が全国の約3割を占めている。

図15 採卵鶏の全国農業地域別飼養戸数・羽数の前年比較

—飼養戸数—



—飼養羽数—

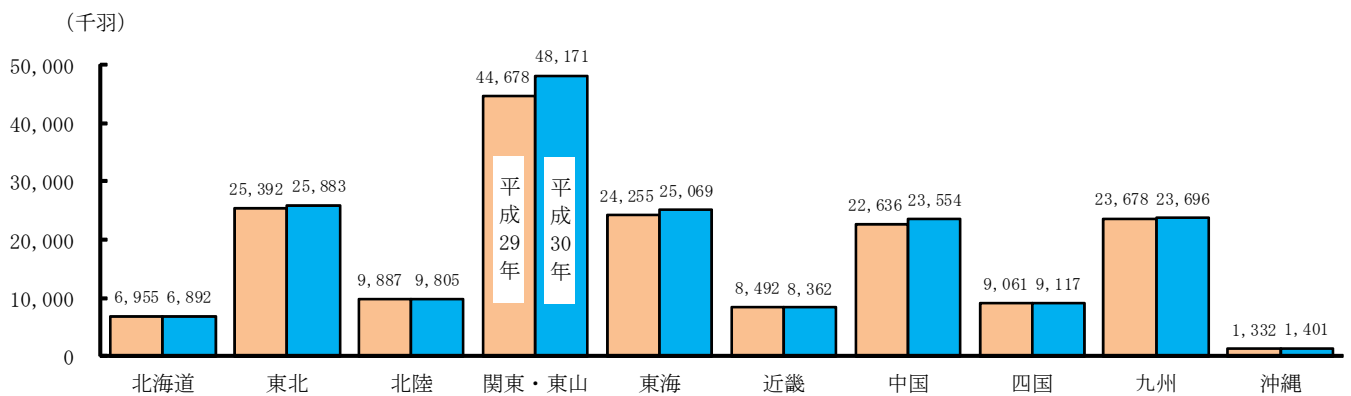


表18 採卵鶏の全国農業地域別飼養戸数・羽数

区分	単位	全国	北海道	東北	北陸	関東・東山	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄	
飼養戸数	実数 平成29年	戸	2,350	64	191	94	613	362	177	189	147	465	45
	30	〃	2,200	62	185	91	539	348	171	181	138	443	44
	対前年比 30/29	%	93.6	96.9	96.9	96.8	87.9	96.1	96.6	95.8	93.9	95.3	97.8
	全国割合 平成29年	〃	100.0	2.7	8.1	4.0	26.1	15.4	7.5	8.0	6.3	19.8	1.9
30	〃	100.0	2.8	8.4	4.1	24.5	15.8	7.8	8.2	6.3	20.1	2.0	
飼養羽数	実数 平成29年	千羽	176,366	6,955	25,392	9,887	44,678	24,255	8,492	22,636	9,061	23,678	1,332
	30	〃	181,950	6,892	25,883	9,805	48,171	25,069	8,362	23,554	9,117	23,696	1,401
	対前年比 30/29	%	103.2	99.1	101.9	99.2	107.8	103.4	98.5	104.1	100.6	100.1	105.2
	全国割合 平成29年	〃	100.0	3.9	14.4	5.6	25.3	13.8	4.8	12.8	5.1	13.4	0.8
30	〃	100.0	3.8	14.2	5.4	26.5	13.8	4.6	12.9	5.0	13.0	0.8	

(3) 成鶏めす飼養羽数規模別飼養戸数・成鶏めす飼養羽数

成鶏めすの飼養羽数規模別（学校、試験場等の非営利的な飼養者を含まない。）にみると、飼養戸数は、前年に比べ全ての階層で減少した。

飼養羽数は、前年に比べ100,000羽以上の階層で増加したが、これ以外の階層では減少した。

なお、飼養羽数規模別の飼養羽数割合は、100,000羽以上の階層が約8割を占めている。

図16 成鶏めすの飼養羽数規模別飼養戸数・成鶏めす飼養羽数の前年比較

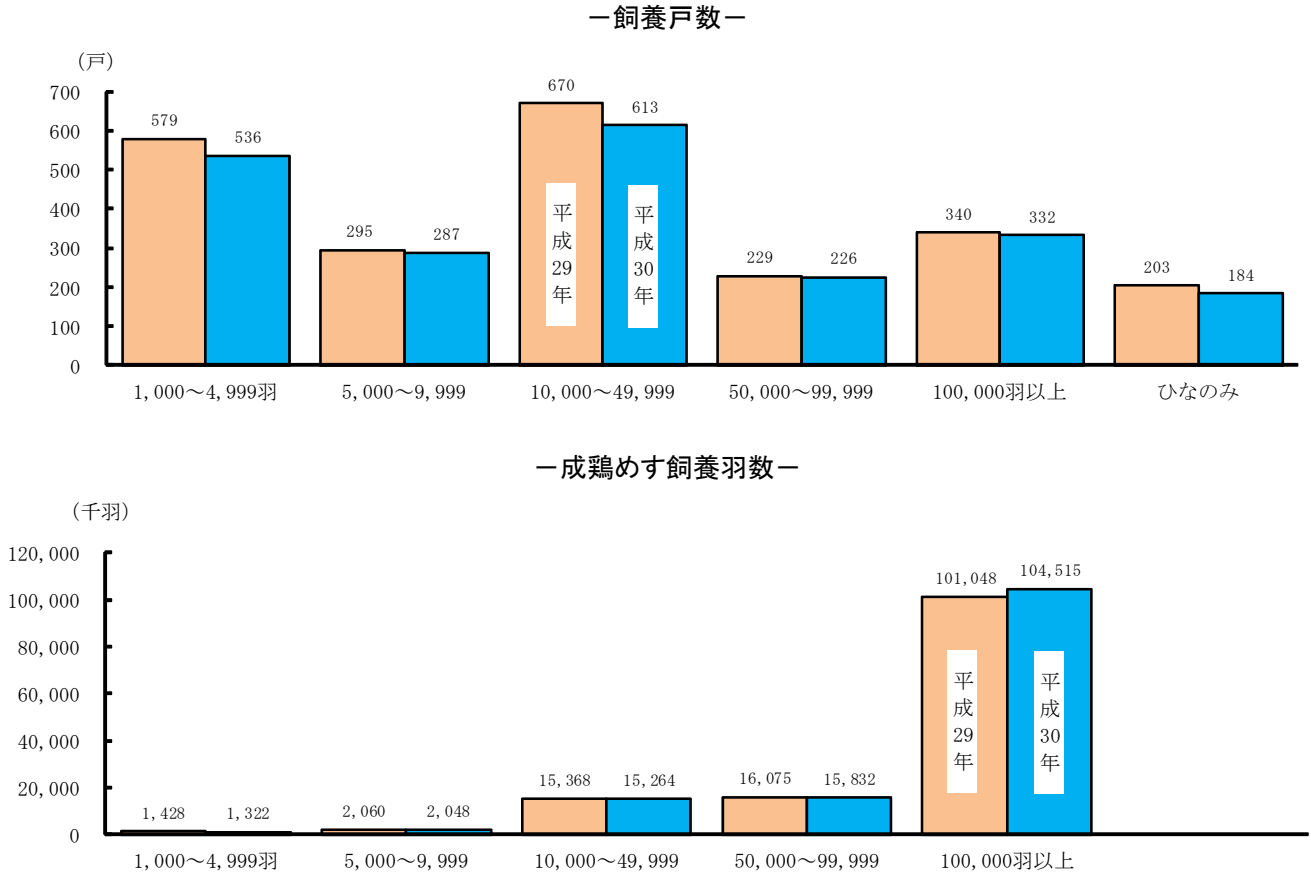


表19 成鶏めすの飼養羽数規模別飼養戸数・成鶏めす飼養羽数

区分	単位	計	成鶏めす飼養羽数規模					ひなのみ	
			1,000～4,999羽	5,000～9,999	10,000～49,999	50,000～99,999	100,000羽以上		
飼養戸数	実数 平成29年	戸	2,320	579	295	670	229	340	203
	30	"	2,180	536	287	613	226	332	184
	対前年比 30/29	%	94.0	92.6	97.3	91.5	98.7	97.6	90.6
	構成比 平成29年	"	100.0	25.0	12.7	28.9	9.9	14.7	8.8
30	"	100.0	24.6	13.2	28.1	10.4	15.2	8.4	
成鶏めす飼養羽数	実数 平成29年	千羽	135,979	1,428	2,060	15,368	16,075	101,048	-
	30	"	138,981	1,322	2,048	15,264	15,832	104,515	-
	対前年比 30/29	%	102.2	92.6	99.4	99.3	98.5	103.4	-
	構成比 平成29年	"	100.0	1.1	1.5	11.3	11.8	74.3	-
30	"	100.0	1.0	1.5	11.0	11.4	75.2	-	

注：1 この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者を含まない。
 2 この表には種鶏のみの飼養者を含まない。

5 プロイラー

(1) 飼養戸数・羽数及び出荷戸数・羽数

平成30年の全国のプロイラーの飼養戸数は2,260戸で、廃業等により前年に比べ50戸（2.2%）減少した。

飼養羽数は1億3,877万6,000羽で、前年に比べ385万3,000羽（2.9%）増加した。

なお、1戸当たり飼養羽数は6万1,400羽で、前年に比べ3,000羽増加した。

また、出荷戸数は2,270戸で、廃業等により前年に比べ50戸（2.2%）減少した。

出荷羽数は6億8,928万羽で、前年に比べ1,156万7,000羽（1.7%）増加した。

なお、1戸当たり出荷羽数は30万3,600羽で、前年に比べ1万1,500羽増加した。

図17 プロイラーの飼養戸数・羽数の推移

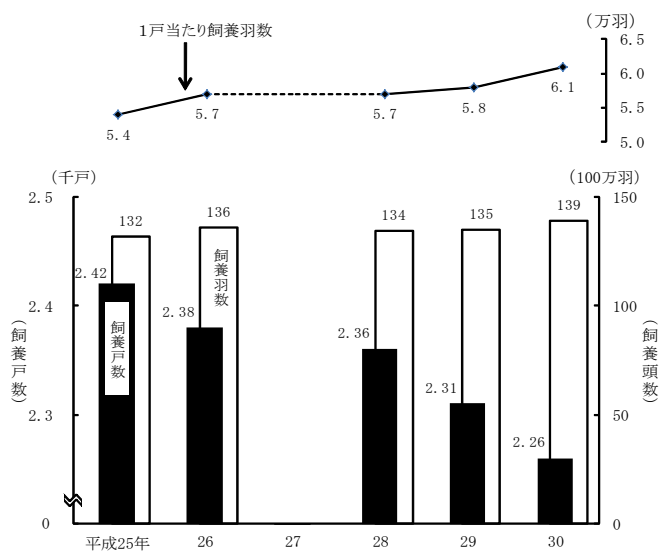
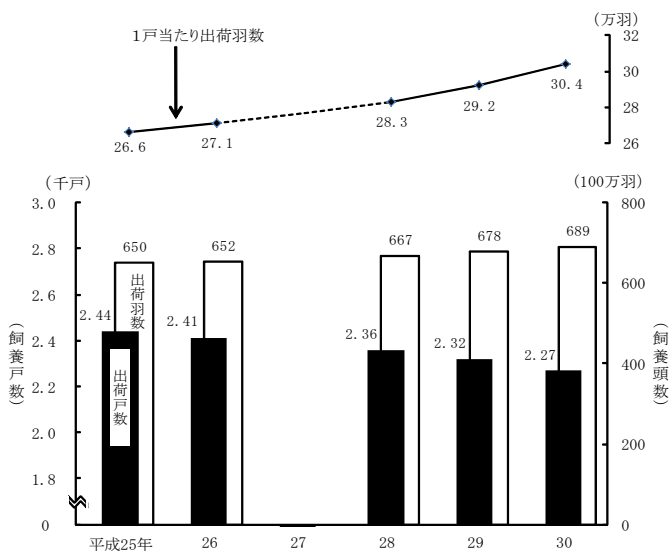


図18 プロイラーの出荷戸数・羽数の推移



注：平成27年は2015年農林業センサス実施年のため、調査を休止した。

表20 プロイラーの飼養戸数・羽数及び出荷戸数・羽数

区 分	飼養戸数	飼養羽数	1戸当たり飼養羽数	出荷戸数	出荷羽数	1戸当たり出荷羽数
	戸	千羽	千羽	戸	千羽	千羽
実 数						
平成28年	2,360	134,395	56.9	2,360	667,438	282.8
29	2,310	134,923	58.4	2,320	677,713	292.1
30	2,260	138,776	61.4	2,270	689,280	303.6
対前年比						
30/29(%)	97.8	102.9	-	97.8	101.7	-

注：1 プロイラーの飼養戸数・羽数及び出荷戸数・羽数には、プロイラーの出荷羽数が年間3,000羽未満の飼養者を含まない。

2 2月1日現在で飼養のない場合でも、過去1年間に3,000羽以上の出荷があれば出荷戸数に含めている。

(2) ブロイラーの全国農業地域別出荷戸数・羽数

全国農業地域別にみると、ブロイラーの出荷戸数は、前年に比べ東海で増加し、北海道、中国及び沖縄は前年並みとなり、これ以外の地域では減少した。

出荷羽数は、前年に比べ近畿及び四国で減少したが、これ以外の地域では増加した。

なお、地域別に出荷羽数割合は、九州が全国の約5割を占めている。

図19 ブロイラーの全国農業地域別出荷戸数・羽数の前年比較

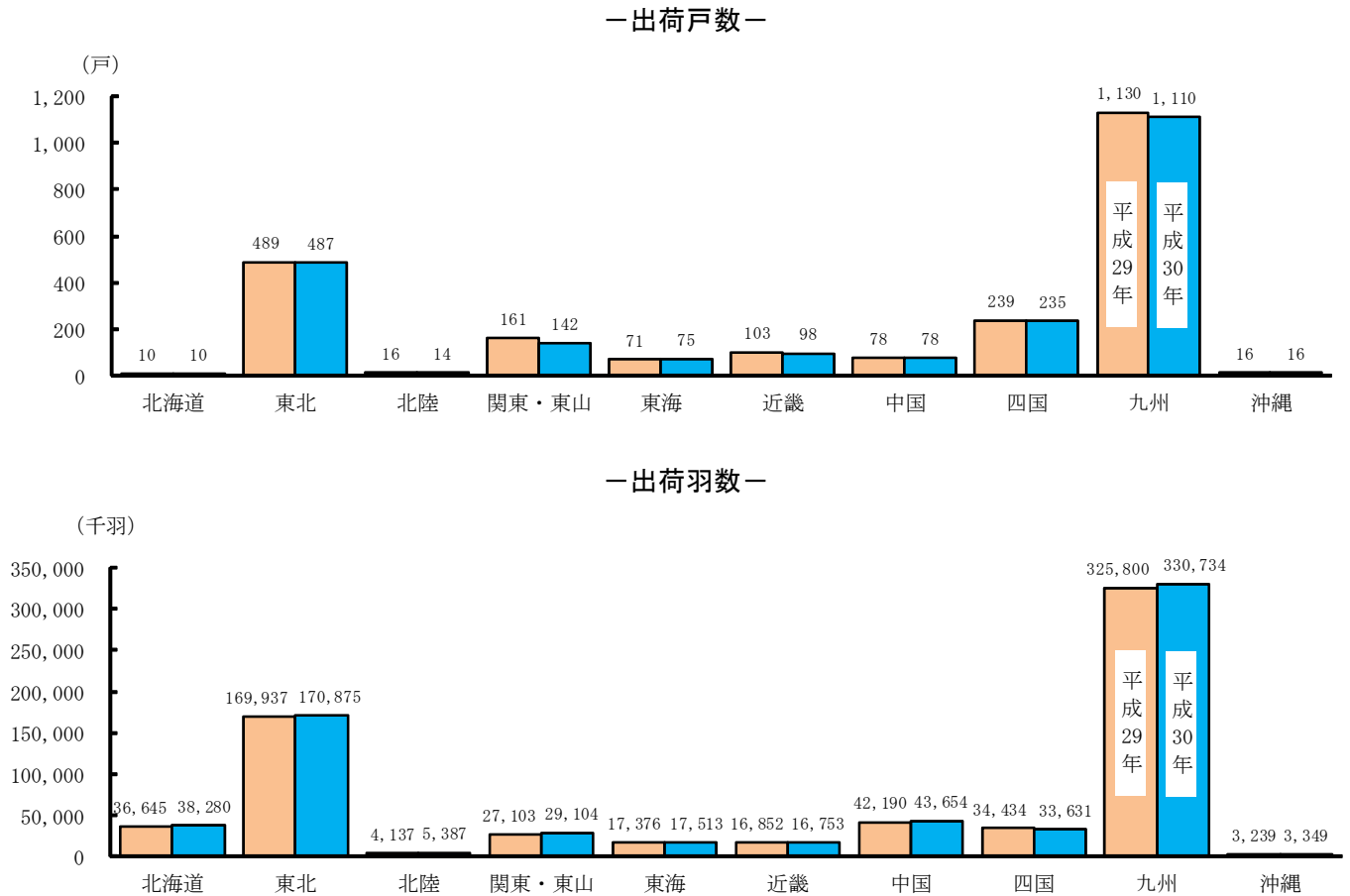


表21 ブロイラーの全国農業地域別出荷戸数・羽数

区分	単位	全国	北海道	東北	北陸	関・東 東山	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄
出荷戸数												
実数 平成29年	戸	2,320	10	489	16	161	71	103	78	239	1,130	16
30	〃	2,270	10	487	14	142	75	98	78	235	1,110	16
対前年比 30/29	%	97.8	100.0	99.6	87.5	88.2	105.6	95.1	100.0	98.3	98.2	100.0
全国割合 平成29年	〃	100.0	0.4	21.1	0.7	6.9	3.1	4.4	3.4	10.3	48.7	0.7
30	〃	100.0	0.4	21.5	0.6	6.3	3.3	4.3	3.4	10.4	48.9	0.7
出荷羽数												
実数 平成29年	千羽	677,713	36,645	169,937	4,137	27,103	17,376	16,852	42,190	34,434	325,800	3,239
30	〃	689,280	38,280	170,875	5,387	29,104	17,513	16,753	43,654	33,631	330,734	3,349
対前年比 30/29	%	101.7	104.5	100.6	130.2	107.4	100.8	99.4	103.5	97.7	101.5	103.4
全国割合 平成29年	〃	100.0	5.4	25.1	0.6	4.0	2.6	2.5	6.2	5.1	48.1	0.5
30	〃	100.0	5.6	24.8	0.8	4.2	2.5	2.4	6.3	4.9	48.0	0.5

(3) ブロイラーの出荷羽数規模別出荷戸数・羽数

ブロイラーの出荷羽数規模別（学校、試験場等の非営利的な飼養者を含まない。）にみると、出荷戸数は、前年に比べ200,000羽以上の各階層で増加したが、これ以外の階層では減少した。出荷羽数は、前年に比べ300,000羽以上の各階層で増加したが、これ以外の階層では減少した。なお、出荷羽数規模別の出荷羽数割合は、500,000羽以上の階層が約5割を占めている。

図20 ブロイラーの出荷羽数規模別出荷戸数・出荷羽数の前年比較

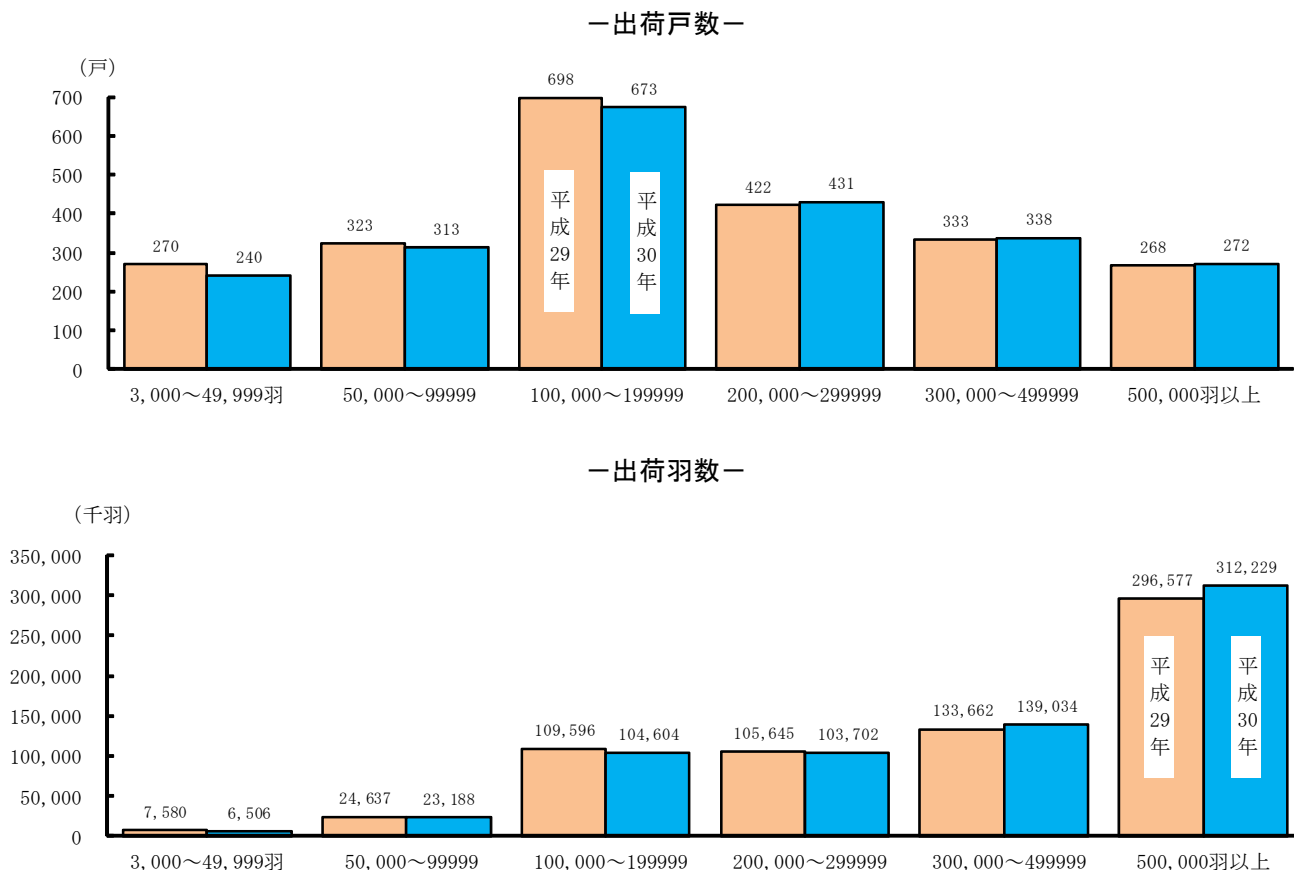


表22 ブロイラーの出荷羽数規模別出荷戸数・羽数

区 分	単 位	計	3,000～ 49,999羽	50,000～ 99,999	100,000～ 199,999	200,000～ 299,999	300,000～ 499,999	500,000羽 以 上
出 荷 戸 数								
実 数 平成29年	戸	2,310	270	323	698	422	333	268
30	〃	2,270	240	313	673	431	338	272
対 前 年 比 30/29	%	98.3	88.9	96.9	96.4	102.1	101.5	101.5
構 成 比 平成29年	〃	100.0	11.7	14.0	30.2	18.3	14.4	11.6
30	〃	100.0	10.6	13.8	29.6	19.0	14.9	12.0
出 荷 羽 数								
実 数 平成29年	千羽	677,697	7,580	24,637	109,596	105,645	133,662	296,577
30	〃	689,263	6,506	23,188	104,604	103,702	139,034	312,229
対 前 年 比 30/29	%	101.7	85.8	94.1	95.4	98.2	104.0	105.3
構 成 比 平成29年	〃	100.0	1.1	3.6	16.2	15.6	19.7	43.8
30	〃	100.0	0.9	3.4	15.2	15.0	20.2	45.3

注：この表には、学校、試験場等の非営利的組織を含まない。